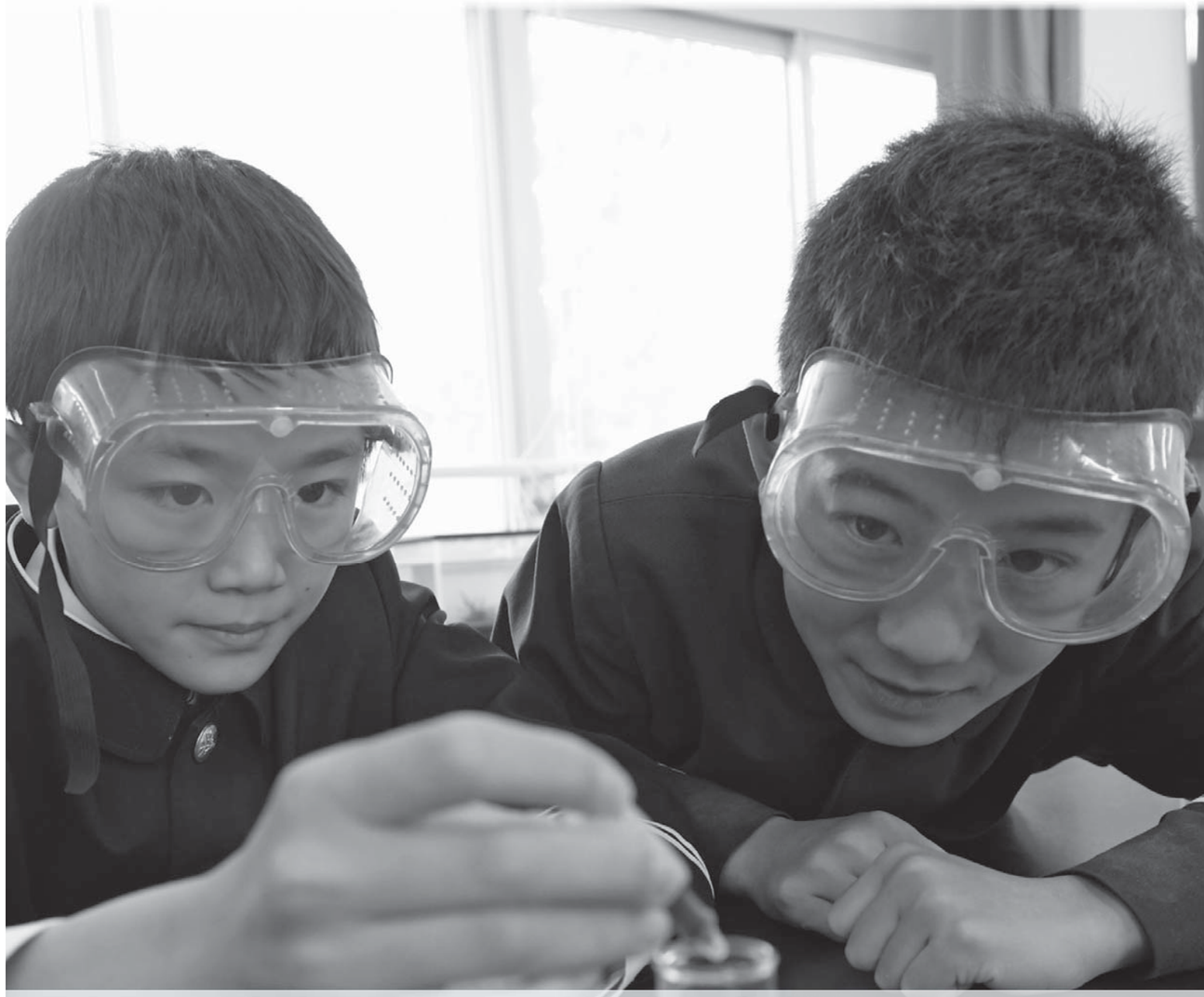
# 2023 附属小 研究だより



## 夏の実践研修会のご案内

**期　　日**　令和５年８月18日（金）８：50～16：20

**内　　容**　・午前　国語・算数授業　＋　教科別授業研究会
・午後　各教科等授業づくりセミナー

【日程】

| 8:00 | 8:50 | 9:00 | 9:45 | 10:00 | 10:45 | 11:00 | 12:30 | 13:30 | 16:10 | 16:20 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 受付 | 日程説明 | 公開授業Ⅰ 国語 | 休憩 | 公開授業Ⅱ 算数 | 休憩移動 | 教科別授業研究会 | 昼食 | 各教科等授業づくりセミナー（各70分）：ユニット1 / 移動休憩 / ユニット2 | | 閉会行事 |

**申し込み**　参加費は 1000 円。（別途システム利用料 220 円が必要）
右の QR コードからお申し込みください。

**申し込み〆切**　令和５年８月17日（木）

※ 当日受付も可能ですが、資料準備のため、ぜひ事前申し込みをお願いいたします。

後援　熊本県教育委員会
熊本市教育委員会

## 令和５年度 研究発表会のご案内

**期　　日**　令和６年２月10日（土）

**全体会講師**　香川大学 准教授　岡田 涼 先生

著書
『やる気をひきだす教師：学習動機づけの心理学』（金子書房）
『自ら学び考える子どもを育てる教育の方法と技術』（北大路書房）
『教師として考えつづけるための教育心理学』（ナカニシヤ出版）
『子どもと大人の主体的・自律的な学びを支える実践』（福村出版）

## 附属小学校ホームページのご紹介

新しいコンテンツ続々登場!!

- **授業研究最前線**
  臨場感あふれる各教科の取り組みを随時更新します。
- **実践・研究ブログ**
  校内で行われた最新の授業実践が掲載されます。

©2010熊本県くまモン

ホームページ
https://elem.educ.kumamoto-u.ac.jp　熊大附属小　検索

## 研修会・講師に関するお問い合わせ先

校内研修や研究会の講師として本校教員をお考えの際は，電話か次のアドレスにお問い合わせ下さい。

satoshi@educ.kumamoto-u.ac.jp
（教頭　岩永 聡）

### ご挨拶

本校の研究テーマの設定は，「学び」とは何か，という問いを職員で探究することから始まりました。その問いの本質に迫るため，研究テーマを「学びをたのしみ自律共創する子ども」とし，サブテーマとして「対象・他者・自己との対話へと誘う学習環境をデザインする」を掲げ，取り組んでまいりました。

理論と実践にこだわり，実践を通して，研究テーマを検証するために，昨年度１月には公開授業を，２月にはオンラインによる研究発表会を実施しました。授業の中では，子どもたちが対象の世界に没頭するたのしさ，仲間とともに創り出すたのしさ，自分なりの意味や価値を見いだすたのしさを求める姿が見られました。

昨年度の検証結果を踏まえ，本年度も引き続き「学びをたのしみ自律共創する子ども」の姿を追い求め，研究を深めたいと考えます。夏の実践研修会及び研究発表会でその研究の一端をお示しする予定です。

ぜひ多くの方々にご参加いただき，忌憚のないご意見，ご指導を賜りますようにお願い申し上げます。

熊本大学教育学部附属小学校　校長　中野　浩幸

熊本大学教育学部附属小学校　研究だより VOL.62
発　行　日　令和５年５月31日
編集・発行　熊本大学教育学部附属小学校　〒860-0081 熊本市中央区京町本丁5-12　TEL 096（356）2492　FAX 096（356）2499

## 学びの新しいたのしみ方を共創する

研究部長　磨田　慎太郎

AIの発達により，少ないキーワードから画像，文章，音楽等を誰でも簡単に自動生成できるようになりました。そんな加速度的に変化を続ける社会を生き抜くために，「たのしむ」ことは，幸福に生きる上で大切な力になってくると考えています。

昨年度は「学びをたのしみ自律共創する子ども～対象・他者・自己との対話へと誘う学習環境をデザインする～」をテーマに研究を進め，教材開発や単元構成の工夫を行うことで，子どもが自律しながら対象にかかわり続けることをたのしむ姿を見ることができました。しかし，他者とともに学びをたのしむという点においては課題が見られました。

では，そもそも他者とともに学ぼうとする時とはどんな時なのでしょうか。これまでの実践の中で，聞いてもらいたい考えをもっている時や一緒に解決したい相手がいる時などに他者の意見を求め，対象との新しいかかわり方を発見する姿が見られました。このように子どもたちは，一人では気付くことができなかった学びの新しいたのしみ方を他者とともにつくりあげていくと考えています。そのような姿を生み出すために，本年度は以下の２点について探っていきます。

○　単元を通して，子どもが他者と話したいと感じる状態の見取り

○　他者と対話することの価値を子ども自身が実感しやすい環境

これまで同様，子どもたち一人一人の学びを大切にするとともに，他者とかかわる中で，学びの新しいたのしみ方を生み出す学習環境について研究を進めてまいります。

## 国語科　今こそ，言葉への立ち止まりから生まれる「創造的な学び」を

溝上　剛道　　木下　忠志

生成AIの進化に沸き立つ世界。大量の情報に基づく文章生成は人間を凌ぐかに思えますが，一方で機械的に作られたそれらしいものに過ぎません。だからこそ，これまで以上に求められるのは，言葉に立ち止まって内容・表現の妥当性や納得感を精査･解釈する創造的･論理的思考力です。そして，その育成に不可欠なのが，表現と理解とを往還しながら自分なりの意味を創造していく学びのプロセスです。

そこで，今年度から「自ら『創造』をたのしむ国語科学習」をテーマとして，①「創造」のたのしさへ誘う言語活動デザインと切実な問いを生み出す学習過程の工夫，②言葉による見方・考え方を働かせ「表現と理解の相互循環」の活性化を促す手立て，③自他の言葉に立ち止まり，学習の調整を促す「足場づくり」としての学習評価を研究していきます。

## 社会科　子どもが自ら社会とかかわり続ける社会科学習

村上　春樹　　白石　和真

６年「国際協力」の単元で，自分にできることを考える中でよりよい国際協力の基準となる視点を更新していきました。さらに，共通の課題意識をもつ仲間と，繰り返し基準に立ち返りながら国際協力について捉え直していく姿がありました。

本校社会科では，単元導入の体験的な活動をきっかけに，自分と社会とのかかわりに気付き，それを基に主題を設定していくことを大切にしています。また，個別最適な学びと協働的な学びを往還しながら，対象・他者と対話し，よりよい社会の実現に必要な視点を見いだす学びを目指していきます。その視点を基に，自らの活動を振り返りながら，社会とのかかわり方を更新していく学びを提案します。

## 算数科　自ら「数学的」に探究する子どもたちを目指して

東野 臣祐　宮本 浩彰　内田 武瑠　津川 郷兵

１年「かたちづくり」において，子どもたちは，「(直角二等辺三角形の)色板を何枚使うと正方形ができるのか」と問いをもちました。２枚で正方形ができることを見いだした子どもたちは，実際に色板を動かす具体的操作と，頭の中で色板を回したり構成したりするなどの念頭操作を通して，「だったら，もっと大きな正方形もできるかな？」と色板の枚数を発展的に考察していきました。

本校算数科では，数学を探究する価値や喜びを実感しながら，自ら見いだした問いや思いを基に学びを進める子どもの姿を大切にします。特に本年度は，思考を可視化する手立てについて研究を進め，子ども同士で対話しながら，課題解決していく姿を目指します。

## 理　科　子どもが自然事象に関わり続ける姿を目指して

牛嶋　克宏　　赤星　愛　　柿原　智明

４年「空気の性質」の単元において，空気の性質を利用した噴水装置の水を，理想の噴き上がり方にする活動を行いました。子どもたちは，水を高く上げたり長い時間上げたりする方法を探る中で，「冷やした空気の体積が１０分の１になるとすると，容器に多くの空気の粒を入れることができ，水が高く上がるはずだ」と質的・実体的な見方を働かせながら，空気の存在や性質について追究していました。

本校理科では子どもが観察，実験を計画，実践する中で，科学者や技術者が辿る文脈を追体験できるようにしています。その中で，子どもが追究に没入し，それぞれの思いをもって自然事象に関わり続ける単元構成について研究を進めます。

## 生活科　学びがつながっていく子どもの姿を目指して

芦原　玲子

生活科では，子どもたちが思いや願いをもち，身の回りに目を向けて活動や体験を積み重ねていく中で，自立し生活を豊かにしていくことが求められています。一方で，活動や体験を行うことは重視されるものの，子どもたちが目的意識をもって学びをつなげていく点においては課題が見られました。

本校生活科では，子どもの学びをつなげていくために，子どもたちの思いや願いを生かすような単元構成の工夫や子どもたちの対話が活性化するための手立てについて探っていきます。活動や体験を通して得た気付きから多様に表現したり考えたりすることによって，学びがつながっていく子どもの姿を目指していきます。

## 音楽科　仲間とともに音楽表現を追求する子どもを目指して

上原　正士　　馬場　美香

音楽づくりの授業では，導入で鑑賞や音色探しなどの体験活動を取り入れています。３年「エアコークアンサンブル」では，ペットボトルにポンプで空気を入れて好きな音をつくる活動をしました。その中で，子どもたちは複数人で音を重ねるおもしろさに気付き，自ら音高の違いを生かしたリズムアンサンブルづくりに向かっていきました。

本校音楽科は，子どもが音楽の仕組みのおもしろさをたのしむことができる魅力的な教材の開発と，自ら学びを切り拓いていく創造的な学びの構成に着目しています。今年度は，作品の相互鑑賞において働かせた音楽的な見方・考え方を一人一人が自覚し，それを生かしながらよりよい音楽表現の追求に向かう子どもの姿を目指していきます。

## 体育科　それぞれの納得解を見つけ出す姿を目指して

是住　直人　　西　沙織

ゴール型ゲームの学習において，相手チームに守られてしまい，味方にうまくパスが通らないという困り事をもつ子どもがいました。その子が描いた絵を提示すると，まわりの子どもたちは自分の経験と重ねながら状況を理解していきました。その子の思いに共感したことで，自分事として共通の課題が立ち上がっていきました。

本校体育科では，子どもたちの「解決したい」という思いを基に，仲間と共に試行錯誤し，それぞれの納得解を見つけていく過程を大切にしています。そのために，どんな動きを試していくか，どう試すかを見通すことができる手立てや，試しの場において子どもたち同士の対話がより充実するための手立てについて，研究を進めていきます。

## 特別の教科 道徳　なりたい自分を追求する姿を目指して

山平　恵太

２年生「おらもいしゃになる」の実践では，野口英世が勉強を続けることができた理由を考えました。その中で悔しさだけではなく，諦めない強い気持ちが大切だと考えたり，英世の立場で考える過程で自分と同じように英世にも弱さがあることに気付いたりすることができました。このように，価値を多面的・多角的に捉え，これまでの自分と重ねて考える姿が見られました。

本校道徳科は，子どもが価値について自分事として考え，なりたい自分を追求し続ける姿を目指します。子ども自身が，今の自分を見つめることで価値との接点を見いだし，学びの過程で自他の価値観を比較して考えるよう促します。そうすることで，これまでの自分を振り返り，物事を多面的･多角的に捉え，これからのなりたい自分を追求する授業を提案します。

## 外国語活動 外国語　コミュニケーションの「おもしろさ」と「大切さ」を実感できる授業を目指して

髙田　実里　　福永　真紀子

外国語活動・外国語科の学習では，子ども自身が個々の学習活動の意味や繋がりを見いだせないことや教師主導で学習を進めてしまうことなどが課題ではないでしょうか。

本校では，外国語を使って他者と考えや気持ちを伝え合うたのしさ・よさを見つけられる子どもの姿を目指します。また，子どもたちが文字や音声を含む言語やコミュニケーションの価値が分かったり，その背景にある文化に気付いたりすることができるようにしていきます。そのために，子どもが必要感をもって学べる題材設定と，主体的に活動できる学習環境を工夫していこうと考えています。さらに，子どもの困り事を生かした課題設定の在り方についても研究を進めていきます。

## 保健 健康教育　自他の行動のよさを自覚し，行動変容につなげる子どもを目指して

村上　朋美

５年「心の健康」では，不安や悩みへの対処について学習しました。子どもたちは，無自覚ながらも行っていたストレス解消法の意味を見つめ直し，友達と意見を交流する中で，「周りの人に迷惑をかけずに自分に合った方法をみつける」ことの大切さに気付くことができました。

本校の保健・健康教育では，子どもたちが，自分や友達の行動のよさに積極的に目を向け，他者とのかかわり合いを通して，健康に過ごすことの価値を見いだす学びを大切にしています。自他の行動を振り返らせ，目標の調整と行動の再実践を促しながら，学びが行動変容につながるような保健教育の在り方を提案します。

## 栄養・食育　食をたのしみ，考え，実践する姿を目指して

上月　直美

食育の授業は，たのしく，充実した時間になっている一方で，子どもたちが学んだ内容を継続して自分の食生活に生かしていくことに，課題を感じられることはないでしょうか。

本校の食育では，子どもたちに継続して実践する力をつけるために，小学校６年間の学びのつながりを意識した食育の在り方について研究を進めています。そのために，各学年における身に付けさせたい力を明確にします。そして，授業では，子どもたちが日常的に親しみのある「給食」を活用することで，食への関心をもつきっかけとし，そのたのしさに気付かせます。さらに，他者とのかかわり合いを通して自分の食について考えを深め，よりよい食生活を実践しようとする姿を目指します。

※ QR コードから各教科紹介やブログ等を見ることができます。